

「小さな力と大きな力」

太田市立太田中学校 1年 今井 陽菜

「暑すぎる…」

今年の夏も毎日のようにそんな言葉が出てしまう。年々私が口にする「暑い」という言葉の数は増えていっているような気がする。

私の住んでいる太田市の隣の市の埼玉県熊谷市では、昨年、日本最高気温を更新し 41.1 度となった。ニュースを見ると熱中症になり、亡くなってしまった人のニュースを見ることが多くなり、地球温暖化が進んでいることを実感する。

父に言わせると、昔はこんなに暑くなかったそうだ。私はそのことを聞いて衝撃を受けた。なぜこんなに暑くなっているのか、私は気になって調べてみた。

気温が高くなっている理由は、温室効果ガスが増加したからだそうだ。温室効果ガスは、地球を温室のビニールのように包み込み、気温を適度に保つ働きをしている。しかし、電気などを作るために石油や石炭を燃やすことで二酸化炭素が大量に排出され、これにより温室効果ガスが必要以上に増え、気温が上昇しているということがわかった。

このような地球温暖化を解決していくにはどうしたら良いのだろうか。電気の無駄使いをしないようにすれば良い？それともエアコンの温度を高く設定すればいい？車に乗らないようにする？いずれにしても私一人がどんなに努力しても簡単には解決できない問題であることは確かだ。だからこそ、世界中でこの地球温暖化についての対策を実行しなければ、地球温暖化という大きな問題は解決することはできないのだと思う。

そんな中、新聞である記事を見つけた。SDGs(エスディーゼーズ)という国連のサミットで決められた国際社会共通の目標についての記事だ。SDGsとは、「持続可能な開発目標」の略称だ。その目標は全部で十七個あり、中でも、十三番の目標には、「気候変動に具体的な対策を」という地球温暖化防止のための目標が定められたそうだ。この目標をもとに日本でも二酸化炭素の排出量を下げするために、企業や地方自治体が様々な工夫をし、地球温暖化の問題に取り組み始めているという。

一人一人の力は小さいが、世界中の国や企業が協力すればとても大きな力になっていくと思う。だからこそ、これからも地球温暖化に対して、様々な対策を取ってくれる企業や国や自治体がどんどん増えてくれたらと願っている。そして、私自身も電気をこまめに消したり、地球温暖化に対する取り組みをしている会社の商品を積極的に買うなど、小さな小さな力ではあると思うが、これからもできる範囲のことはしていきたい。地球温暖化問題は個人が取り組む小さな力と企業や自治体に取り組む大きな力の二つの力がなければ解決することができない。この二つの力がより大きな力になることを願っている。